

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（-：回答が存在しない、\*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東北)		競艇場（職員）	単価の動き	・数名の大口客が乗場している様子であり、好調である。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・客単価、買上点数共に堅調に推移している。正月は例年どおり動きが良くなかったが、その後は雪の日が少なく、気温もそれほど下がらなかったため、天候に恵まれて朝の通勤客が時間に余裕を持って買物をしている様子がみられている。また、目的買いの他にプラスアルファの小物の購入が目立っている。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・競合店舗の出店によるマイナス分を、ワンプランド効果でカバーしている。また、若干ではあるものの、来客数も増加している。
		衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・出張などのビジネス需要が安定しており、天候に左右されて不安定な動きをみせているカジュアル需要をカバーしている状態である。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・初売りの売上は他社に若干の後れをとったものの、その後は徐々に上向いてきている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・消費税の引上げ前の駆け込み需要が始まっている。
		乗用車販売店（本部）	販売量の動き	・客からは、消費税の引上げ前という声が聞こえ始めている。販売台数も新車、中古車共に前年を上回っており、特に高額車の動きに顕著な伸びがみられている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・若干ではあるが、来客数が伸びている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・例年、1月は天候が荒れない限り乗客数は伸びないものだが、今年は穏やかな天候でも乗客数が伸びている。
		通信会社（営業担当）	お客様の様子	・年末のキャンペーンが終了し、新年に入ってから光サービスのエリアも順次拡大しているため、加入者を増やしている。特にIP電話については、セットによる加入者が増加しており、年間を通して純増となっている。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・インバウンド客を中心に来客数が伸びている。団体予約以外の客も、JRの乗り放題などを利用してインバウンド客を中心に多くなっている。
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	販売量の動き	・1月に入っても来客数が多い状態が継続している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・穏やかに始まった新年であり、初売りも来街客に比較的恵まれている。しかし、潤った飲食店やファーストフード店と比較して、中小物販店は同様の状況には至っていない。今年は初売りと同時にセールが開始されたが、いかがなものかとの声も聞こえている。さらに、その後は中だるみや落ち込みがみられており、商店街全体としては注視せざるを得ない状況である。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・地元において、雪の降る場所は天候に左右されることが非常に多い。今年は前年同様に天候の良い日が多く好天に恵まれたことにより、来客数は前年並みを維持している。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・1月は降雪量が少なく、商店街の来街者は例年並みで推移している。また、各店舗の売上も横ばいとなっている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・年末年始など、景況感に左右されるようなにぎわいが実感できなくなっている。
	一般小売店[医薬品]（経営者）	お客様の様子	・客は必要なものを購入しているため、来客数は減少気味であるものの、客単価、買上点数共に程度良い方向に向かっている。ただし、全体的な来客数は減少傾向にある。	
	一般小売店[医薬品]（経営者）	来客数の動き	・3か月前と比較して来客数は横ばいであるが、客単価は低下している。中旬以降は寒さが厳しくなるにつれて、来客数も減少してきている。	

一般小売店〔カメラ〕(店長)	販売量の動き	・低額商材の動きが非常に悪い状態であるが、高額商材の動きが好調のため、売上は確保している。また、新商材の予約も入っている。
百貨店(売場主任)	お客様の様子	・冬物クリアランスセールを実施しているが、価格が下がったからといって単純に客が購入する雰囲気にはならない。品目にもよるが無駄な出費は控えている様子である。食品、化粧品などは比較的好調であるが、衣料品を始めファッション関連は苦戦している。
百貨店(企画担当)	販売量の動き	・販売量、来客数共に変化がない。
百貨店(営業担当)	お客様の様子	・初売りの福袋や冬物クリアランスセールなど、毎年同じような内容の商品には客も飛びつかなくなってきており、モノよりコトにシフトしてきている。ただし、景気の動きとしては余り変化はみられていない。
百貨店(買付担当)	お客様の様子	・クリアランスセールに入っても、吟味して購入する傾向は変わっていない。衣料品のまとめ買いは前年よりもかなり少なくなっている。
百貨店(経営者)	販売量の動き	・天候に恵まれて初売りは前年を若干上回っている。しかし、衣料品セールは立ち上がりの瞬間的な盛り上がりには欠けており、定価品同様に苦戦するなど、アパレルの百貨店チャネルからの離反傾向がみられる結果となっている。食料品は物産展がけん引して堅調に推移している。
スーパー(経営者)	単価の動き	・平均1品単価の前年比は横ばいで推移している。また、既存店の来客数、買上点数共に変化はなく、売上の前年比の動きにも大きな変化はみられていない。
スーパー(店長)	来客数の動き	・来客数は前年を上回っているものの、客単価は依然として前年割れの状態が続いている。
スーパー(店長)	販売量の動き	・以前は売上の伸び率が来客数を上回っていたため、客が少なくても売上があったが、最近は逆転しており、1人当たりの購入金額が減少している。
スーパー(営業担当)	販売量の動き	・前年比は、来客数99%、売上97%と、ここ半年間と同様の結果である。競合環境は厳しく、買い回りによる買上点数の減少が続いている。また、暖冬の影響により、生鮮部門を中心に鍋物商材の不振、葉物野菜の価格下落による売上の落ち込みも大きい。
コンビニ(店長)	来客数の動き	・復興作業が徐々に落ち着き、それに伴い作業員数が減少しているため、来客数が20%ほど低下している。
衣料品専門店(経営者)	お客様の様子	・暖冬の影響で防寒衣料の動きが鈍く、処分に苦労している。また、中学、高校の学生服やセーラー服など、学校の指定制服の売り込みは、友人知人に声をかけて紹介してもらっている。
家電量販店(従業員)	お客様の様子	・生活必需品ということでエアコンなどの暖房商材は売れているが、趣味し好の側面が強い高額なテレビ関係は伸びていない。
乗用車販売店(従業員)	来客数の動き	・土日祝日の来客数の動きに変化はみられていない。
その他専門店〔酒〕(経営者)	販売量の動き	・大幅に落ち込んだ11月の状態から横ばいで推移している。工夫で多少は取り返しているものの、余り景気は回復しているとはいえない。
その他専門店〔靴〕(従業員)	販売量の動き	・中身が見えない初売りの福袋は、年々売れなくなっている。また、この時期は割引商品を探している客が非常に多く、在庫処分と割り切るしかない状況である。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	販売量の動き	・灯油の前年比が90%、軽油の前年比が80%と、暖冬の影響により販売量の前年割れが続いている。ただし、大きな値段の崩れがないため、収益はそれなりに確保できている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕(営業担当)	販売量の動き	・販売量は前年割れの推移が続いている。また、年末に値下げに動いていた原油相場が、1月に入り再び値上げに動き出している。
その他小売〔ショッピングセンター〕(統括)	単価の動き	・初売りの福袋は減少しているものの、平均単価は上がってきている。また、来客数の動きは通常と変わらずに推移している。

観光型ホテル (経営者)	来客数の動き	・年末年始は例年並みの入込であったが、12月の忘年会シーズン同様に、何日か極端に平日の入込が悪い日がみられている。
観光型旅館(経営者)	来客数の動き	・来客数は前年並みではあるものの、低調に推移している。
都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・冬になると売上は減少していくが、今年は雪が少なく天候もやや良かったことから、思っていたよりも減少幅が少ない状態である。
旅行代理店(経営者)	お客様の様子	・客はより安く良いものを求める傾向になっている。また、こちらの軽微なアナウンスミスに対して、クレームとしてその分の料金が支払われないというケースも出てきている。客の財布のひもが固くなってきており、必要以外のものに金を出したくない様子である。
タクシー運転手	お客様の様子	・営業日の乗車回数は増加しているが、利用者との会話からは寒さの話が出てくるため、時期的な増加であるとみている。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・1月後半から下降気味となっている。企業の様子見が増え、営業も抑えられている。米中の貿易摩擦に巻き込まれないよう、東南アジアやアフリカ諸国への進出を模索している企業もある。また、通信業界も低迷しており状況に変化はない。
通信会社(営業担当)	お客様の様子	・客の設備投資意欲に変化がみられていない。
通信会社(営業担当)	来客数の動き	・初売りの来客数が予想よりも少なく、前年と比較しても大きく減少している。
観光名所(職員)	来客数の動き	・開催中のイベントが客から高評価を得ているにもかかわらず、来客数の増加につながっていない。食事についても、安価なほかの施設を利用する傾向が多くみられている。
遊園地(経営者)	来客数の動き	・1月は限定営業をしているが、雪が少なく天候が安定していることや、暦が良かったことから前年を上回っている。
美容室(経営者)	単価の動き	・これといった増減の動きはなく、売上、客単価共に前年並みで推移している。
美容室(経営者)	競争相手の様子	・狭い地域に美容院が何軒もあるため、競争が発生している。
住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・大型の宅地や建物を希望している客のうち、数件の動きが足踏みを始めている。
一般小売店 [酒](経営者)	単価の動き	・売れ筋商品の単価が下がっている。
一般小売店 [酒](経営者)	販売量の動き	・例年どおり、年が明けたら得意先の発注量も一気に落ち着いている。得意先の飲食店では客足が鈍く、来店しても早々に帰宅してしまう客が多く厳しい状況である。消費者はまだまだものを買うことに消極的なことには変わりはない。
スーパー(営業担当)	来客数の動き	・来客数は前年比98.7%と前年を下回っており、売上は来客数よりも悪く前年比97.9%となっている。また、客単価も99.2%と買い控えの傾向がみられている。
スーパー(副店長)	販売量の動き	・必要なものを必要な分しか購入しないなど、客の買物の仕方がシビアになってきている。
コンビニ(経営者)	単価の動き	・今月は目的買いがかなり多く、衝動買いが減少している。
コンビニ(エリア担当)	来客数の動き	・1月の来客数は、前年比で3ポイント落ち込んでいる。特に朝の来客数減少が続いており、カウンターコーヒーやバック飲料などの売上が減少している。
コンビニ(店長)	来客数の動き	・雪による来客数の減少、光熱費の高騰、除雪代の負担、競合店舗のオープンなど、全てにおいて厳しい月となっている。
衣料品専門店(経営者)	販売量の動き	・初売りの来客数は前年を下回っている。福袋だけを購入していく客が多く、販売量も減少している。

	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・初売りの客が6日まで動いたことで週の売上は確保できている。ただし、成人式やセンター試験の日程が前年と比較して1週間ずれた影響もあり、これ以降は大苦戦をしている。
	衣料品専門店 (店長)	来客数の動き	・競合店舗のオープンから3か月が経過しているが、来客数は前年比90%で推移している。
	衣料品専門店 (総務担当)	単価の動き	・来客数は余り落ち込んでいないものの、客単価、買上点数共に減少している。処分価格の商品ばかりが動いており、粗利も落としている。
	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・メーカーからの配車が遅く、売上納車ができない状況である。
	自動車備品販売店 (経営者)	販売量の動き	・例年と比較して売上が減少している。取引先のユーザーに購入意欲がみられていない。
	住関連専門店 (経営者)	来客数の動き	・降雪と寒さで来客数が落ち込んでいる。また、客の節約志向が高まっているようにも見受けられる。
	その他専門店 [食品](経営者)	販売量の動き	・年が明けて閑散期となっている。例年に比べて雪が少なく買物に出掛けやすい環境ではあるが、なかなか消費者の足が向かないため、販売量も伸びていない。
	その他専門店 [白衣・ユニフォーム](営業担当)	販売量の動き	・一般的に動きが良くない。大きな物件もなく、特に動きの良いものもないため、厳しい月となっている。
	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・レストランの苦戦は続いており、ランチタイムにおいて、これまで少なからずあった来客数が今月は特に減少している。
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・大型連休以降は静かな状態である。給料日以降は多少にぎわったものの、全体的にみると前半の冷え込みが強く、景気はやや悪い状態である。
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・今月はインフルエンザの流行が受験シーズンと重なり、慎重になっているのか、外出が控え目になっている。そのため、雪が少なく動きやすい環境にもかかわらず、人の動きが鈍くなっている。
	観光型旅館(スタッフ)	販売量の動き	・全体的に景気が悪く、申込みや問合せ自体が少ない。前年よりも宿泊単価を上げた影響が出ている可能性がある。
	都市型ホテル (スタッフ)	お客様の様子	・個人利用の動きに余り変化はみられていない。ただし、法人利用の会合において、地方開催を取りやめて首都圏のみの開催にするとの理由により、キャンセルや次回の開催がなくなるという状況が数件続いている。
	旅行代理店(店長)	販売量の動き	・国内個人旅行が前年を上回っているものの、国内団体旅行の動きが悪く、足を引っ張っている状態である。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・先行販売における同期比も前年を下回っている。
	通信会社(営業担当)	単価の動き	・物価の値上がりが続いており家計を圧迫している。収支のバランスが取れず、実質的なマイナス家計となっている現状にある。水面下の声を聞くと、景気はやや悪くなっていると実感している。
	設計事務所(経営者)	競争相手の様子	・これまでは他社の動向を気にする必要がないくらいに忙しかったが、最近では受注の状況や取扱案件について他社から聞かれることが増えている。そろそろ手持ちの案件や今後の受注予定が少なくなってきたのではないかと。
	その他住宅[リフォーム](従業員)	販売量の動き	・リフォーム工事の受注が増えず、給湯器などの設備工事も増加していない。
×	一般小売店[書籍](経営者)	販売量の動き	・年始の売上はそれなりであったが、三が日以降の売上に全く動きがみられていない。さらに、今年は前年のような売行き的好調な商材がないこともあり、売上是最悪の状況である。
×	一般小売店[医薬品](経営者)	お客様の様子	・繁華街にもかかわらず、新年会で飲み歩く人の数が非常に少ない。また、インフルエンザが大流行しているが、皆が病院へ行くため風邪薬を購入する客も少なく、前年と比較して売上が10%減少している。

	x	スーパー（経営者）	お客様の様子	・年末商戦に引き続いて、年始商戦においても例年に比べて節約志向が急速に強まっている。
	x	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・年末年始から来客数に改善がみられず、低調のまま推移している。特に太平洋に面した県の動きが悪い状態である。
	x	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・寒さと雪、風邪などの流行により客足が止まっている。
	x	住関連専門店（経営者）	販売量の動き	・受注量が少ないため、販売量も比例して減少している。
	x	住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・初売りなどを企画していない当店は売上に苦慮している。カタログ販売に動きはあるものの、納品は2月のため1月の売上には結び付いていない。
	x	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の減少が著しい。土日祝日に入る祝い事などは余り減ってはいないが、企業の動きが非常に悪く、その分の埋め合わせもない状態である。
	x	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・市場で出会う同業者からは、例年よりも売上が良くないと聞いている。市場関係者も同様の様子であり、景気は悪い方向に向かっている。
企業 動向 関連  (東北)		-	-	-
		窯業・土石製品製造業（役員）	受注量や販売量の動き	・地域間の格差はあるものの、前月よりは出荷量が回復している。ただし、前年同期比では依然としてマイナスとなっている。
		建設業（従業員）	受注量や販売量の動き	・大型工事の入札結果が複数確認できており、各社の受注量が伸びている様子である。
		金融業（広報担当）	取引先の様子	・出荷量が安定しているりんごのほか、2018年産米の相対取引価格が例年と比較して好調に推移している。また、地元漁港の水揚げ額も、良型サバの好調により前年を上回るなど一次産業が地場経済をけん引している。
		農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・天候不順により例年よりも果物の着色が悪く、販売単価が良くない状態である。
		農林水産業（従業者）	それ以外	・平成30年産の米は天候不順により収穫量が大幅に減少している。共済組合による共済金の支払が期待されたものの、該当条件が厳しく期待外れに終わっている。
		食料品製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・販売量の前年割れが続くなど、厳しい状況が続いている。
		出版・印刷・同関連産業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・景気は悪いまま横ばいで推移しており、3か月前も今月も売上の前年同月比は約10%落ち込んでいる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	取引先の様子	・今年度の注文はほぼ完了し、追加注文のない状況のため、据置き状態となっている。
		建設業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・手持ち工事の繁忙度の高い状態が続いている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・客の中には、契約更新の際に同業他社へ切り替えるケースも出始めている。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・設備投資よりも経費節減や縮小に重きが置かれている。
		金融業（営業担当）	取引先の様子	・企業の設備投資はそれなりである。また、大雪の影響で除雪関連業者の仕事もある。
		広告業協会（役員）	受注量や販売量の動き	・年末年始商戦が終わって一段落している。目立った動きも特になく、横ばいの状況である。
		広告代理店（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・製紙メーカーの印刷用紙製造減少により、用紙不足が発生している。さらに、値上げにより利益率も悪化しており、価格に転嫁できない辛さを実感している。
		公認会計士	取引先の様子	・小売業関係は売上、利益共に前年比の減少傾向が続いている。建設関係も同様の傾向ではあるものの、利益を確保している企業が多い。そのため、3か月前と比較して状況に変化はみられてない。
		コピーサービス業（従業員）	取引先の様子	・仕入れ商品及び配送費の値上げ通知がたびたび届いており、販売価格に転嫁できるか微妙である。メインの仕入先ではないものの、他にも追従する会社が多く出てくるのではないかと不安である。
		食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・例年同時期と比較して来客数が減少している。

	木材木製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注の動きがやや鈍化してきている。原材料の大半を輸入に頼っているため、年明け以降の円高は仕入れコスト的にプラスに作用するものの、販売価格が上がらないため依然として厳しい状況が続いている。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・飲食店などの景気が悪くなっている様子であり、支払も悪くなっている。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少する時期ではあるが、今年は更に受注量が減少している。
	電気機械器具製造業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・在庫調整による受注量の動きが大きな要因の一つになっている。
	輸送業（経営者）	取引先の様子	・荷主の生産量減少の影響が出始めている。
	経営コンサルタント	取引先の様子	・米中の貿易摩擦などの影響による受注環境の悪化や、慢性的な人手不足などにより、事業環境が厳しさを増している。
	× その他非製造業 [ 飲食料品卸売業 ]（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売上における特売品の比率が高くなってきている。目玉商品の購入が目立ち、定番商品の売上は非常に悪くなるなど、良くない傾向となっている。
雇用 関連 (東北)		-	-
	人材派遣会社（社員）	採用者数の動き	・派遣社員の稼働総数は、1,000名の大台に乗った10月から横ばいで推移している。また、登録者の横ばいを受注や引き当ての増加で補っている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求人数の伸び幅は以前と比較して落ち着いてきているが、求職者数は継続して増加傾向にある。現時点において問題点はなく、景気は良くなっている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・年度末に向けた求人数が例年に比べても横ばいで推移している。ただし、求職者の動きは徐々に活発になってきている。
	学校 [ 専門学校 ]	周辺企業の様子	・以前よりも活発な動きが多く見受けられている。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・求人数の動きは全業種共に応募が少ない状況が続いており、引き続き企業は求人活動をしている。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・求職者数の伸びに停滞感がみられている。
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・企業の採用難は変わらない。年度末を迎えるが、地元中小企業の新卒採用は、大卒、専門卒、高卒共に計画の半数に満たない企業が多い。
	人材派遣会社（社員）	求職者数の動き	・新規登録者などの動きに大きな変化はみられていない。
	新聞社 [ 求人広告 ]（担当者）	周辺企業の様子	・企業には人手不足や復興需要の縮小などの懸念材料があり、伸び悩んでいる。
	職業安定所（職員）	それ以外	・有効求人倍率の高止まり状態は継続しているものの、事業主都合による離職者が増加している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・11～12月と新規求人数の前年同月比は微増傾向である。また、製造業などにおいて求人数が減少しているものの、事業所などの訪問で見受けられる景況感は横ばいである。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数は3か月前と比較して7.5%減少している。新規求人数も12.3%減少したが、更新求人が全体の51%と高くなっている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数は3か月前と比較してほぼ同数である。充足せず更新を繰り返す求人も多く、景況感に大きな変化はみられていない。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・地元大手の菓子製造販売会社の民事再生法の申請や、県外の飲食チェーン店の不振による県内2店舗閉鎖など、一部の企業において業績不振による雇用調整がみられるものの、全体的には求人件数、求人数の増加及び求職者の減少傾向がみられている。
		アウトソーシング企業（社員）	それ以外

	新聞社 [ 求人広告 ] ( 担当者 )	求人数の動き	・ 地元の景気を占う初売りは、天候に恵まれてまずまずの売行きとなっている。しかし、求人の様子を見る限り、このような流通にも求人の動きはなく、全体的に伸びていない。そのため、景気が良いとはいえない。
	x	-	-